

## 2022年12月の行事予定表

1	木	祈祷会	16	金	
2	金		17	土	
3	土		18	日	礼拝式
4	日	礼拝式、聖餐式、教会役員会	19	月	
5	月		20	火	
6	火		21	水	
7	水		22	木	祈祷会
8	木	祈祷会	23	金	
9	金		24	土	キャンドルサービス
10	土		25	日	クリスマス礼拝式・クリスマス祝会
11	日	礼拝式	26	月	
12	月		27	火	
13	火		28	水	
14	水		29	木	祈祷会
15	木	祈祷会	30	金	
			31	土	

12月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

### 編集後記

- ◇ 先日の雨で、街路樹や「岡山後樂園」の紅葉が“秋のおしまい”を告げているようです。
- ◇ 教会では11月27日からのアドベント(キリスト待降節)に、玄関内にクリスマスツリーを飾りました。教会前を通る電車(津山線)やバス(岡山理科大行き)そして近隣の方々から見ていただき、クリスマスの喜びを分かち合えたら、という気持ちで毎年飾っています。
- ◇ コロナ禍で三度目のクリスマス(12月25日)は、マスク・互いの距離・換気という状況は変わりませんが、小さな祝会ができることは大きな喜びです。心の中で“ハレルヤ・コーラス”を歌いつつ！

# 教会月報

2022年12月

No.379

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

## クリスマスを祝う

「天使は言った。『恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたの方のために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。』 新約聖書・ルカ福音書2章10-11

12月を迎えるころになりますと、急に街があわただしくなります。年度末を迎え新年度の準備もありますが、なんとといってもクリスマスの到来がデパートや商店街などでムードを盛り上げます。

街中ではクリスマス・ツリーが飾られ、岡山市内のメインストリートではカラフルなイルミネーションやクリスマス音楽などで目にも、耳にも美しく楽しい雰囲気満たされます。

さて、クリスマスの意味はChrist・MASS=キリストへの礼拝を意味しています。神の独り子であるイエス・キリストはこの世に神であられたにも関わらず、人間の姿で登場されました。そして、生涯を通じて愛の教えを説かれ、愛の業を实践されました。また、特に人間では不可能な事として、神の救いの業を成し遂げられたのです。(人間の犯した罪=神に対して犯した罪、自己中心「単数」=原罪と隣人に対する罪「複数」をすべて十字架の死によってご自身で引き受けられました。)しかし、父なる神はキリストの死後、3日目に死の世界(墓の中=黄泉)より蘇らされたのです。それが復活(イースター)であり、悔い改めてキリストを救い主メシアと信じる者には永遠の命を与えて下さるのです。

私たちは年に一度のクリスマスを年中行事として過ごすのではなく、神はこの一年の歩みを見つめ直し、何が神のみ心かを探る時ではないかと思えます。皆さんも、この一年様々なことがあったことでしょう。間違いのないのは、神は御子イエス・キリストを世に遣わされ、愛の業をなされたことを信じたいのです。

牧師 永松 清





# 永眠者記念礼拝 2022



クリスマス・リースと  
クリスマス・ツリー  
を飾りました。

去る5月15日の礼拝後に永松先生が倒れ救急搬送されました。それから早半年。先生が今お元気に奉仕されている姿に神様の守りの御手があったことを実感します。入院と治療の間、牧師館の改修も重なっていましたが、淑子先生の健康も守られました。

翌週から教会役員が礼拝の奨励を担い、合わせて9回の奨励が行われました。一部は毎月の月報に連載しました。こうして先生不在や休養の間、礼拝を続けられたことを感謝します。今月で最後の掲載になります。奨励のまとめではなく御言葉の紹介と設問にしました。手元に聖書を持ち、開いて読み、御言葉を考え味わってみてください。(編集部)



2022年11月6日、今年も永眠者記念礼拝の朝を迎えました。会堂には先に召された兄弟姉妹のお写真が飾られ、久しぶりにお顔を拝見する方々も礼拝に来られて記念礼拝が行われました。S姉、F姉、S兄その他のご遺族、ご家族が集まれ感謝な一日となりました。

礼拝では永松師より『神による選び』と題してヤコブ書 2:1-5 を引用されたメッセージが述べられました。『人を分け隔てしてはならない。キリスト者は特に教会内で差別したら神の愛は存在しない。神によって選ばれた人は永遠の命＝復活の希望が与えられる。他者に対して外見等で判断せず一人の人として接することが求められ、それが希望の人生となる。』と述べられました。

礼拝後は第一、第二墓地に分かれて墓前礼拝が行われました。第一墓地には永松師はじめ上記のご遺族方が参加し、墓前礼拝を行いました。第二墓地では永松姉、Y兄が参加し墓地の清掃と献花、そして二曲賛美して祈りの時を与えられました。好天にも恵まれ、先達の方々への感謝に満ちたすばらしい一日となりました。



## 「主を畏れる」 8月14日 土居弘幸

主を畏れる「畏れ」について、聖書には213か所、新約聖書には25か所記載されていますが、その殆どが主を畏れることが重要という言葉です。その中で具体的な内容がある以下の聖書箇所から「主を畏れる」事とは何か考えてみましょう。(ポイントとなる言葉)

- 詩編 34 篇 12-15 節
- 詩編 22 篇 24 節 (主を讚美せよ)
- 詩編 25 篇 12 節 (選ぶべき道を示される)
- 詩編 25 篇 14 節 (奥義を悟らせ)
- 詩編 111 篇 10 節 (知恵の初め 主の賛美は永遠)
- 箴言 8 章 13 節 (悪を憎むこと)
- 箴言 14 章 27 節 (命の源)
- II コリント書 7 章 1 節 (完全に聖なる者となる)
- エペソ書 5 章 21 節 (畏れをもって、互いに仕え合う)

主を畏れる生き方をした人物としてヨブを取り上げます  
ヨブ記 4 章 6 節  
・ここでは主を畏れる生き方はどういう生き方と表現していますか？  
ヨブ記 42 章 4-6 節  
・最後にヨブは悔い改めると告白していますが、「完全な道」を歩んでいたヨブが何を悔い改めたと思いますか？

### Y・B姉妹への インタビュー

“永松先生、淑子先生、  
ありがとうございました。”

私は2009年3月28日の日曜日に初めてナザレン教会に出席しました。これは忘れません。教会前の桜が満開でした。電車の音も聞こえました。すごく昔のことを考えました。

もうあれから12年過ぎ去りました。私は、牧師先生夫婦の愛をいっぱいいっぱいもらいました。来年3月に引退することは、ものすごく寂しいことです。でも私は、その過ぎ去った12年に、牧師先生も淑子先生も私たちも、一所懸命祈りささげて、信仰をここで育てました。いま考えたら、感謝感謝ばかりです。  
—これからも、先生ご夫婦の残りの人生でお元気でいて、私たちのため、宣教のため、祈りを続けられるように私も祈ります。

最後に、先生ご夫婦に贈る御言葉は、Iコリント13章13節です。

『それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。』

사랑  
(愛)

